

## 県内の景気動向

概況（2023年12月）

**景気は、緩やかに拡大している（4カ月連続）**

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

建設関連では、建設受注額は前年を上回る

消費関連は、高い消費マインドが継続しており、回復の動きが強まっていること、建設関連は資材価格が高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化しており、回復の動きが強まっていること（上方修正）、観光関連は、前年同月に実施された全国旅行支援の反動減はあるものの、引き続き国内の旅行需要高いなか外国客も増加傾向にあることから、緩やかに拡大していること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

### 消費関連

百貨店売上高は、6カ月連続で前年を上回った。クリスマスなどのイベント需要やインバウンド需要が高く、売上増加に寄与した。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに19カ月連続で前年を上回った。気象要因などにより衣料品が減少したものの、値上げによる単価上昇や来店客数の増加などにより食料品を中心に底堅く推移した。新車販売台数は、新車の供給回復の動きは継続しているものの、レンタカー需要の高まりがみられた前年同月の反動などにより16カ月ぶりに前年を下回った。家電大型専門店販売額（11月）は、4カ月連続で前年を上回った。

先行きは、物価高などにより引き続き不透明感はあるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、緩やかに拡大するとみられる。

### 建設関連

公共工事請負金額は、独立行政法人等・その他は減少したが、国、県、市町村は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（11月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数（11月）は、持家、分譲、給与は減少したが、貸家は増加したことから6カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンはともに4カ月ぶりに前年を下回った。鋼材売上高、木材売上高は、出荷量が増加したことなどから前年を上回った。

先行きは、資材価格などが高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化していることなどから回復の動きが強まるとみられる。

### 観光関連

入域観光客数は、25カ月連続で前年を上回った。国内客は2カ月連続で減少し、外国客は15カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入全て2カ月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は22カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は3カ月ぶりに増加し、売上高は4カ月連続で前年を上回った。前年同月に実施された全国旅行支援の反動がみられるものの、国内外からの旅行需要が高いなか、年末の航空便の増便やNAHAマラソンなどのスポーツイベントもあり好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高いなか那覇空港発着の航空便の拡充があり、外国客の増加が見込まれること、プロ野球キャンプ等のスポーツイベントが開催され、国内客の増加も予想されることから、緩やかに拡大するとみられる。

## **雇用関連**

新規求人数は、前年同月比0.2%増と2カ月ぶりに前年を上回った。産業別では、建設業、運輸業・郵便業、サービス業（他に分類されないもの）などで増加した。有効求人倍率（季調値）は1.13倍で、前月より0.02ポイント上昇した。完全失業率（季調値）は2.9%と、前月から0.3ポイント低下した。

## **その他**

消費者物価指数は、前年同月比3.6%の上昇となり、28カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同3.5%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は4.5%の上昇となった。

企業倒産件数は2件で前年同月から2件減少した。負債総額は1億1,000万円で、前年同月比82.2%減となった。

## りゅうぎん調査（2023年12月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2023.10－2023.12)
<b>1. 消費関連</b>		
(1) 百貨店(金額)	2.0	5.6
(2) スーパー(既存店)(金額)	3.2	4.9
(3) スーパー(全店)(金額)	3.8	5.3
(4) 新車販売(台数)	▲ 8.1	3.8
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(11月) 2.7	(9-11月) 4.3
<b>2. 建設関連</b>		
(1) 公共工事請負金額(金額)	58.8	22.9
(2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(11月) ▲ 47.0	(9-11月) ▲ 19.8
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(11月) 0.6	(9-11月) 11.8
(4) 建設受注額(金額)	P 133.7	P 60.3
(5) セメント(トン数)	▲ 10.1	2.0
(6) 生コン(m <sup>3</sup> )	▲ 7.2	3.7
(7) 鋼材(金額)	P 44.9	P 30.1
(8) 木材(金額)	4.5	4.0
<b>3. 観光関連</b>		
(1) 入域観光客数(人数)	5.0	13.9
うち外国客数(人数)	189.9	533.4
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P ▲ 6.7	(前年同期差) P ▲ 3.8
	(実数) P 52.1	(実数) P 57.8
(3) " 売上高(金額)	P ▲ 3.1	P 3.0
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 15.2	P 24.4
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	0.5	▲ 1.8
(6) " 売上高(金額)	7.3	4.3
<b>4. その他</b>		
(1) 県内新規求人数(人数)	0.2	▲ 1.9
(2) 有効求人倍率(季調値)	1.13	1.13
(3) 消費者物価指数(総合)	3.6	3.6
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 2	(前年同期差) ▲ 3
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(11月) ▲ 7.1	(9-11月) 0.7

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 2022年4月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

(注3) ゴルフ場は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

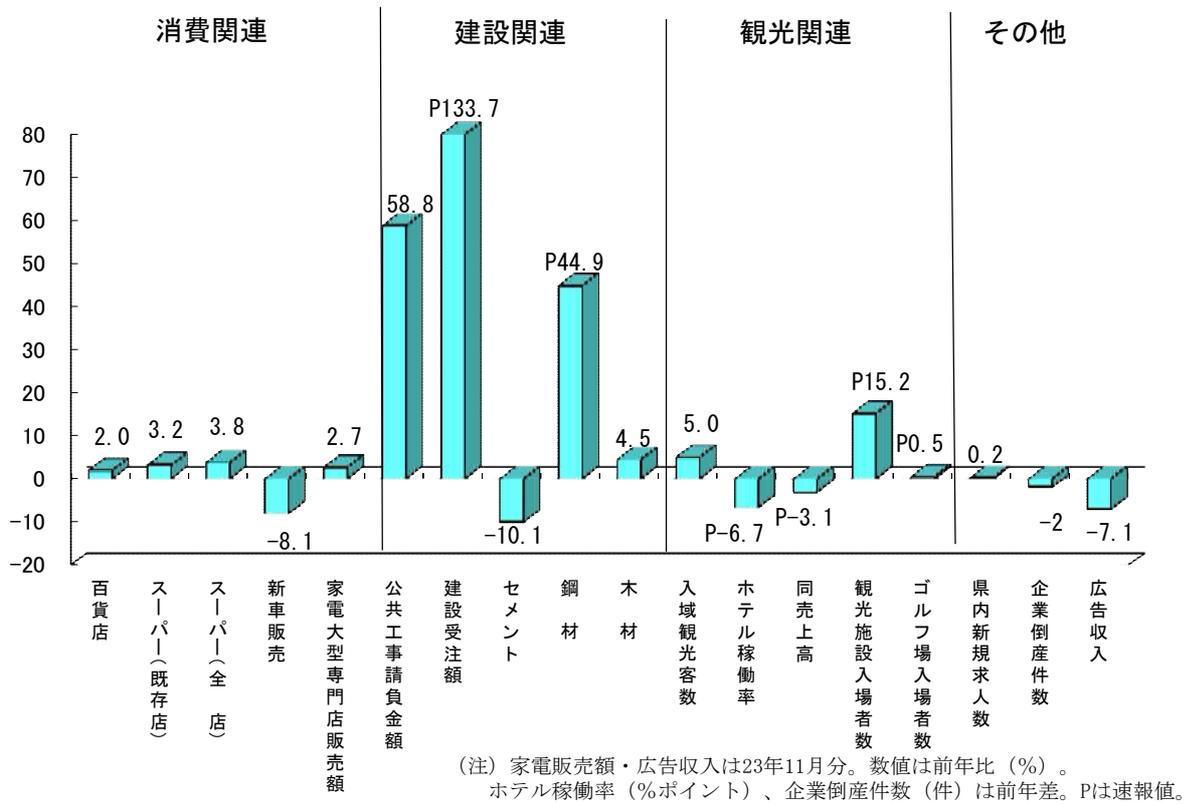
(注4) 主要ホテルは、2021年11月より調査先を28ホテルから27ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

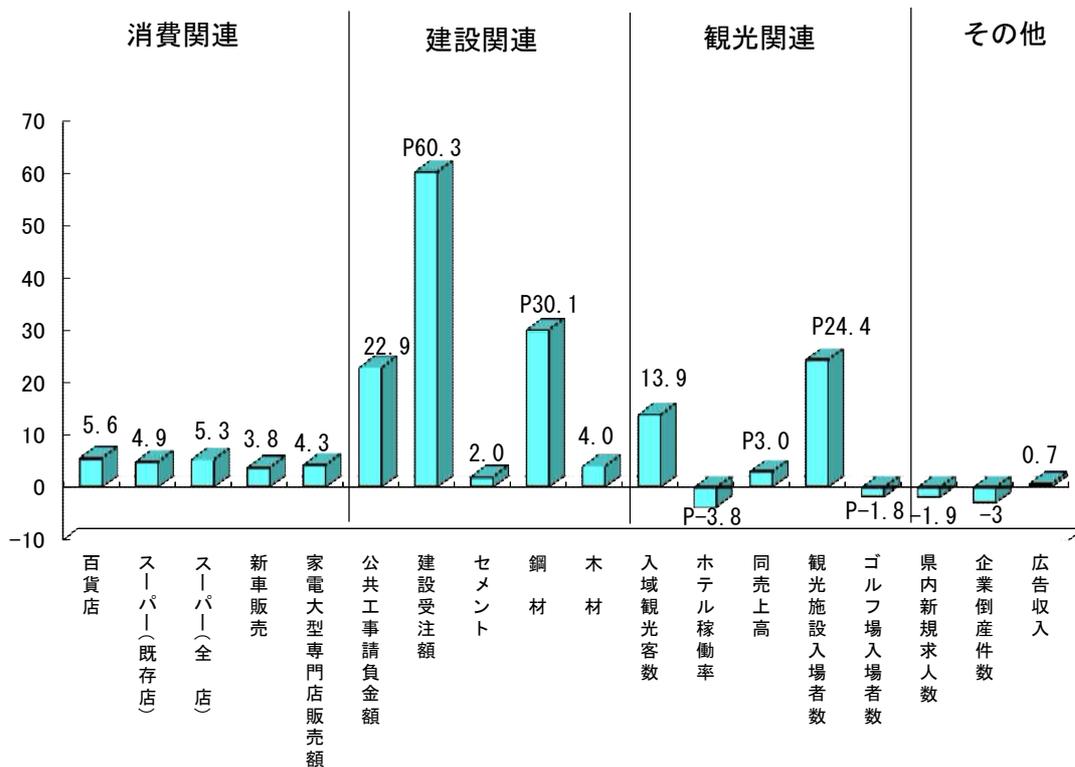
(注6) 建設受注額は、2022年12月より調査先17先のうち、一部更改を行った。

(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2023年12月)



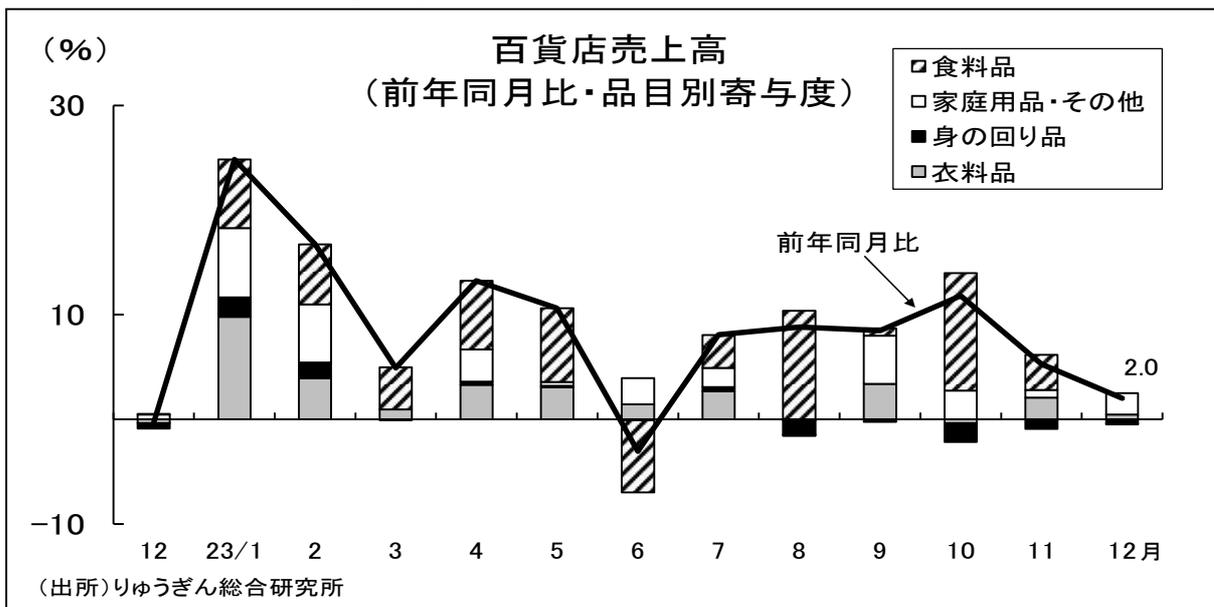
項目別グラフ(3カ月、2023年10月~2023年12月)



(注) 家電販売額・広告収入は23年9月~23年11月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

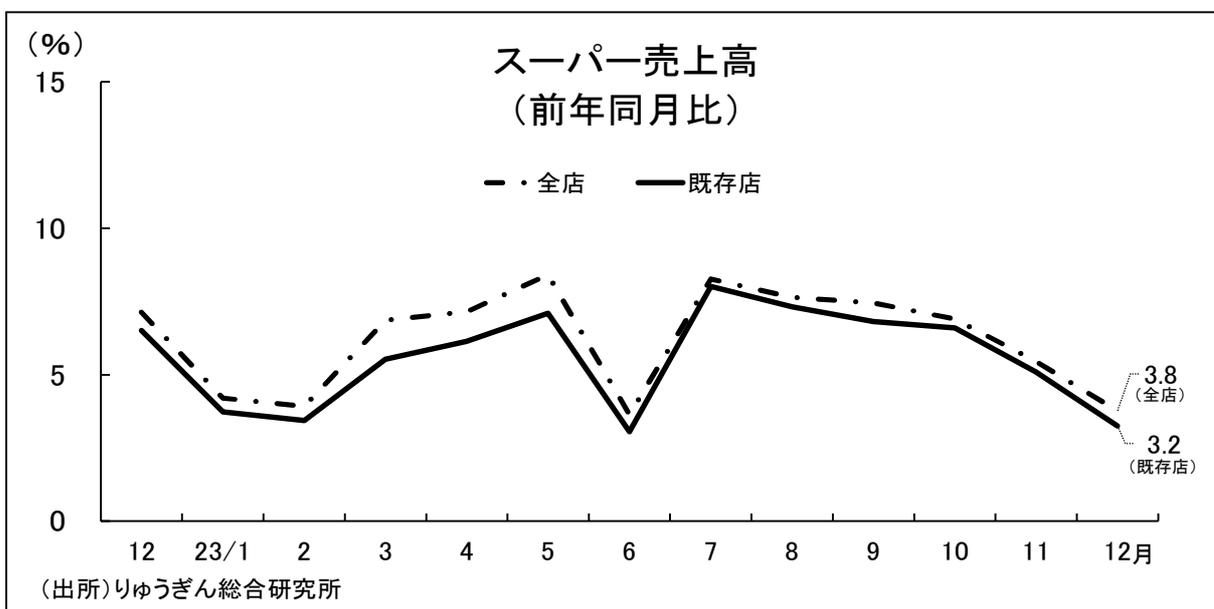
# 1. 消費関連

## (1) 百貨店売上高：6カ月連続で増加



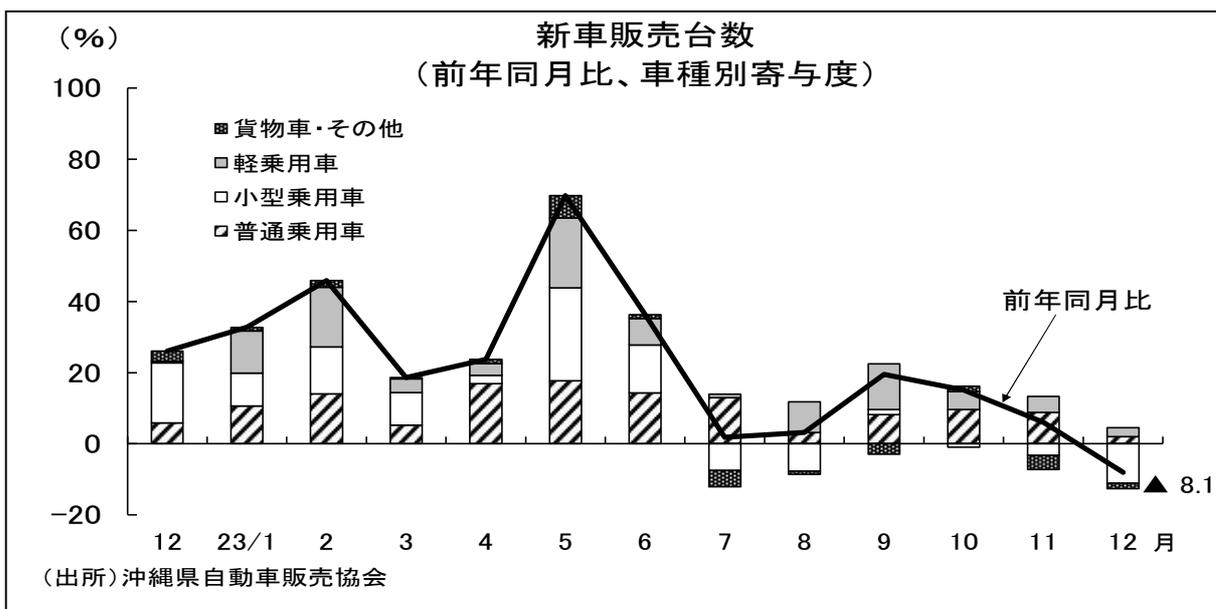
- ・ 百貨店売上高は、前年同月比2.0%増と6カ月連続で前年を上回った。
- ・ 値上げによる単価上昇などにより、お歳暮ギフトが低迷したものの、クリスマスなどのイベント需要が高く、また、免税売上の増加などもあり前年を上回った。
- ・ 品目別にみると、家庭用品・その他が同8.0%増、衣料品が同1.8%増、食料品が同0.2%減、身の回り品が同5.8%減となった。

## (2) スーパー売上高：全店ベースは19カ月連続で増加



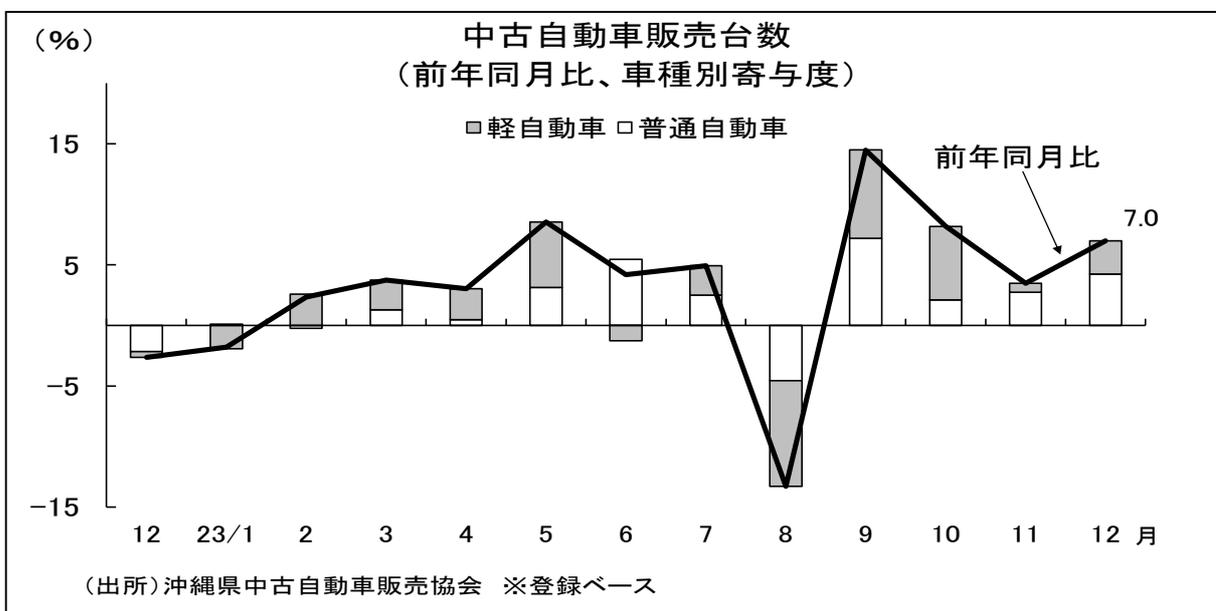
- ・ スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比3.2%増と19カ月連続で前年を上回った。
- ・ 前年に比べ気温が高く推移したことで季節商材の動きが鈍く、衣料品が減少したものの、値上げによる単価上昇や来店客数の増加、またクリスマスなどイベント需要が高く、食料品を中心に売上が増加した。
- ・ 品目別にみると、食料品が同4.1%増、住居関連が同1.2%増、衣料品が同1.2%減となった。
- ・ 全店ベースでは同3.8%増と19カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：16カ月ぶりに減少



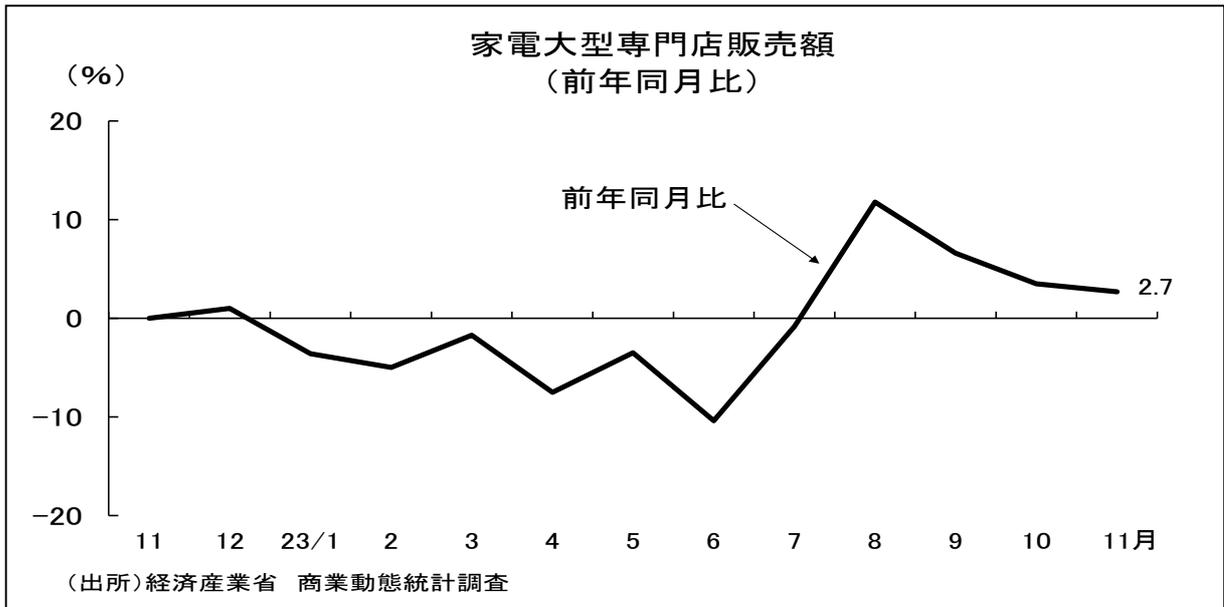
- ・ 新車販売台数は3,361台で前年同月比8.1%減と16カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 新車の供給回復の動きは継続しているものの、旅行需要喚起策などによるレンタカー需要の高まりがみられた前年同月の反動により、小型乗用車が減少したことなどから前年を下回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は1,561台（同16.3%減）で、うち普通乗用車は761台（同10.4%増）、小型乗用車は609台（同40.1%減）であった。軽自動車（届出車）は1,800台（同0.5%増）で、うち軽乗用車は1,411台（同7.1%増）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：4カ月連続で増加



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万7,957台で前年同月比7.0%増と4カ月連続で前年を上回った。
- ・ 新車の生産回復に伴い、中古車登録台数の増加が継続していることなどにより前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が7,333台（同10.8%増）、軽自動車が1万624台（同4.5%増）となった。

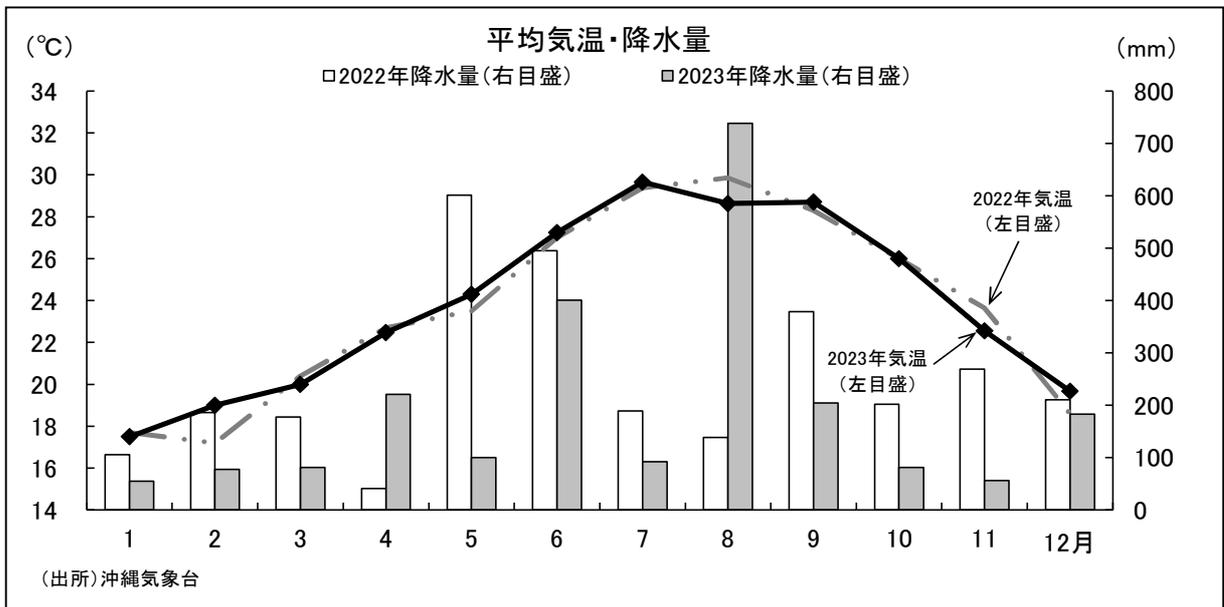
(5) 家電大型専門店販売額：4カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（11月）は、前年同月比2.7%増と4カ月連続で前年を上回った。
- ・ エアコンや冷蔵庫などの白物家電の減少がみられたものの、値上げによる単価上昇などにより、売上が増加した。

(参考)

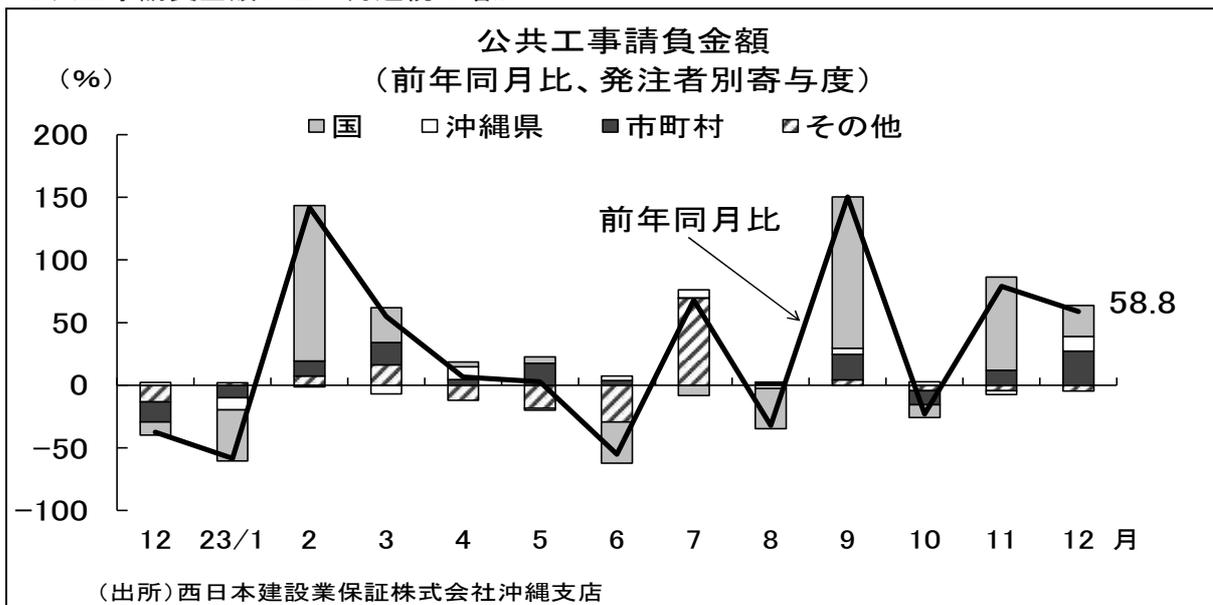
◇ 気象:平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は19.7°Cで前年同月（18.6°C）より高く、降水量は183.0mmで前年同月（210.5mm）より少なかった。
- ・ 高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線及び大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。
- ・ 平均気温は平年並み、降水量は平年より多く、日照時間は平年より少なかった。

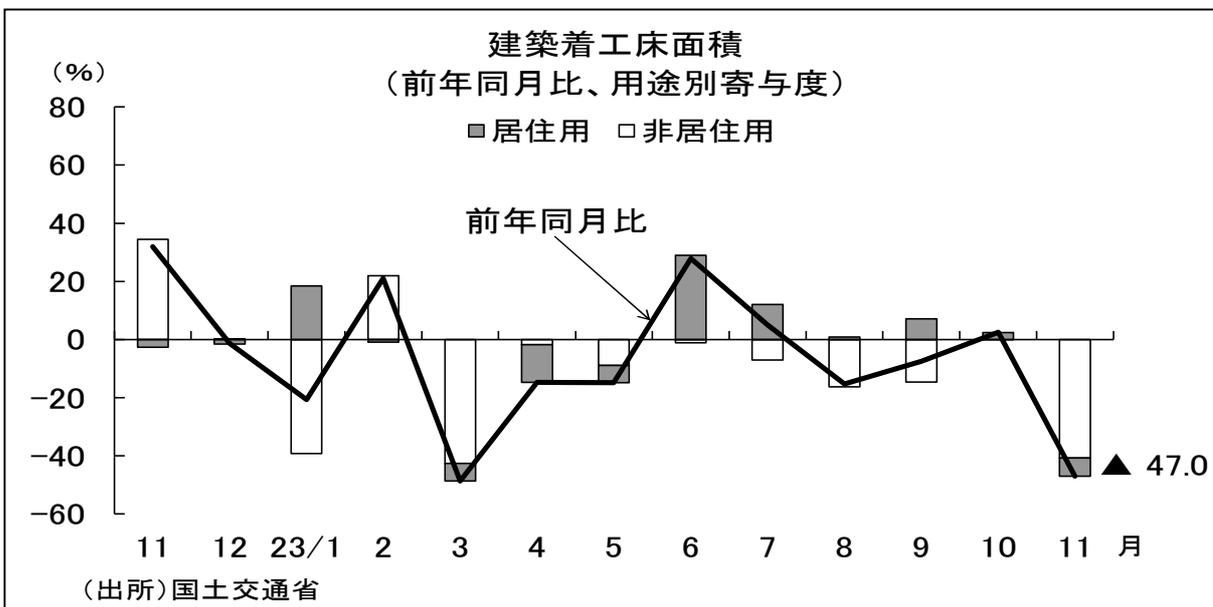
## 2. 建設関連

### (1) 公共工事請負金額：2カ月連続で増加



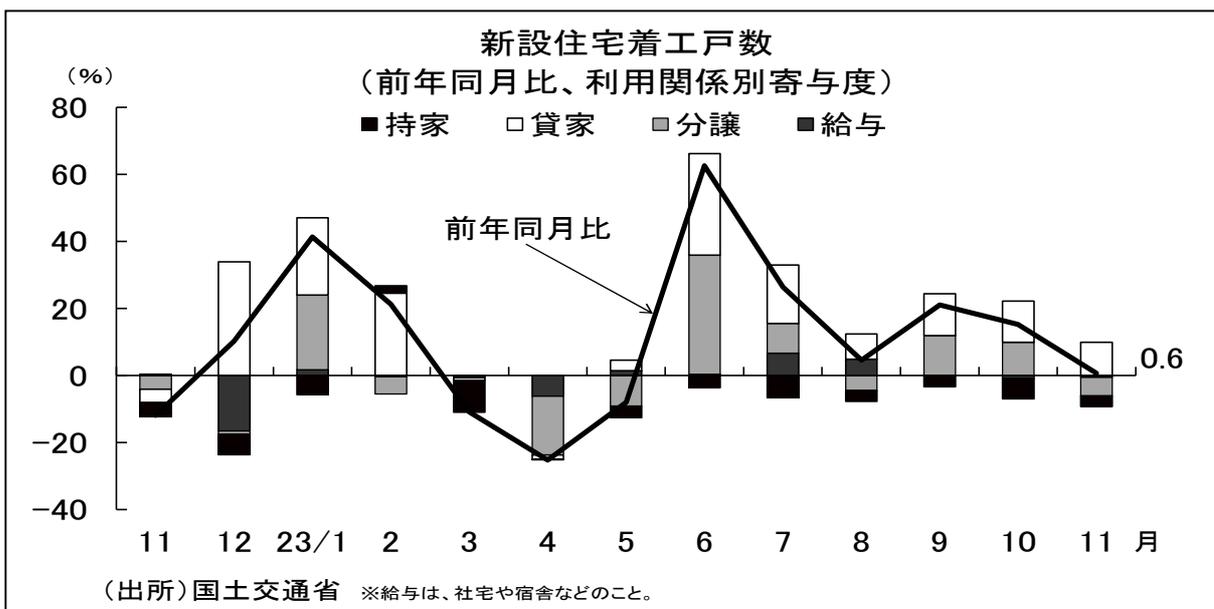
- 公共工事請負金額は、178億1,241万円で、独立行政法人等・その他は減少したが、国、県、市町村は増加したことから、前年同月比58.8%増となり、2カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国(同91.6%増)、県(同43.7%増)、市町村(同69.0%増)は増加し、独立行政法人等・その他(同68.9%減)は減少した。

### (2) 建築着工床面積：2カ月ぶりに減少



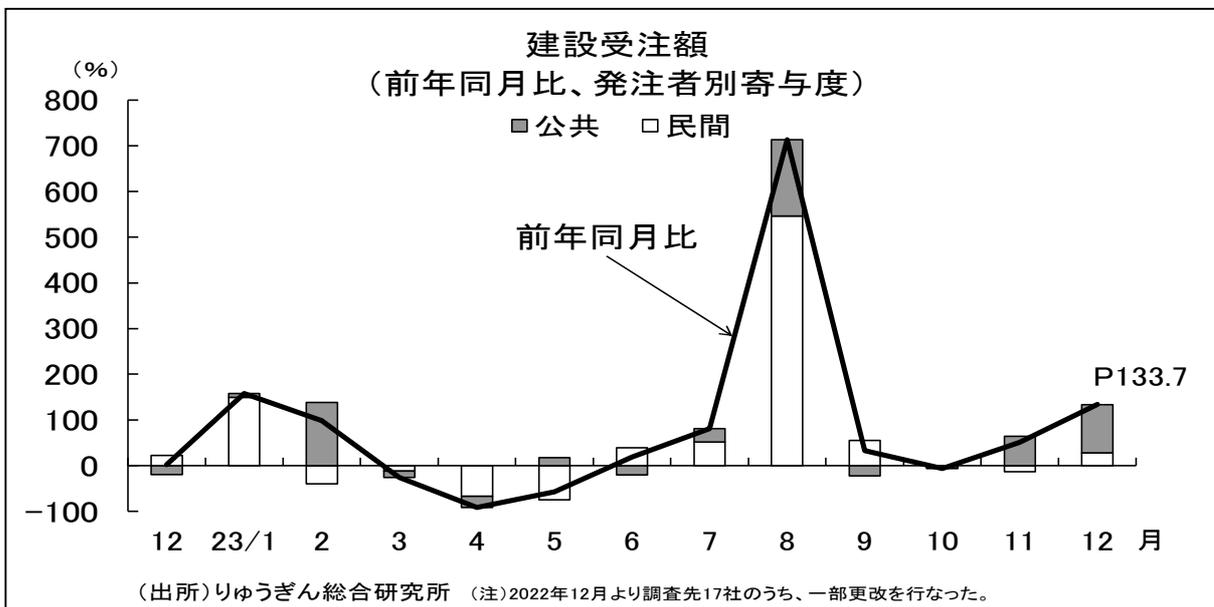
- 建築着工床面積(11月)は8万8,839㎡となり、居住用、非居住用ともに減少したことから、前年同月比47.0%減と2カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同14.2%減となり、非居住用は同72.9%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用は減少し、居住産業併用は増加した。非居住用では、卸売・小売業用などが増加し、飲食店・宿泊業用や医療、福祉用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：6カ月連続で増加



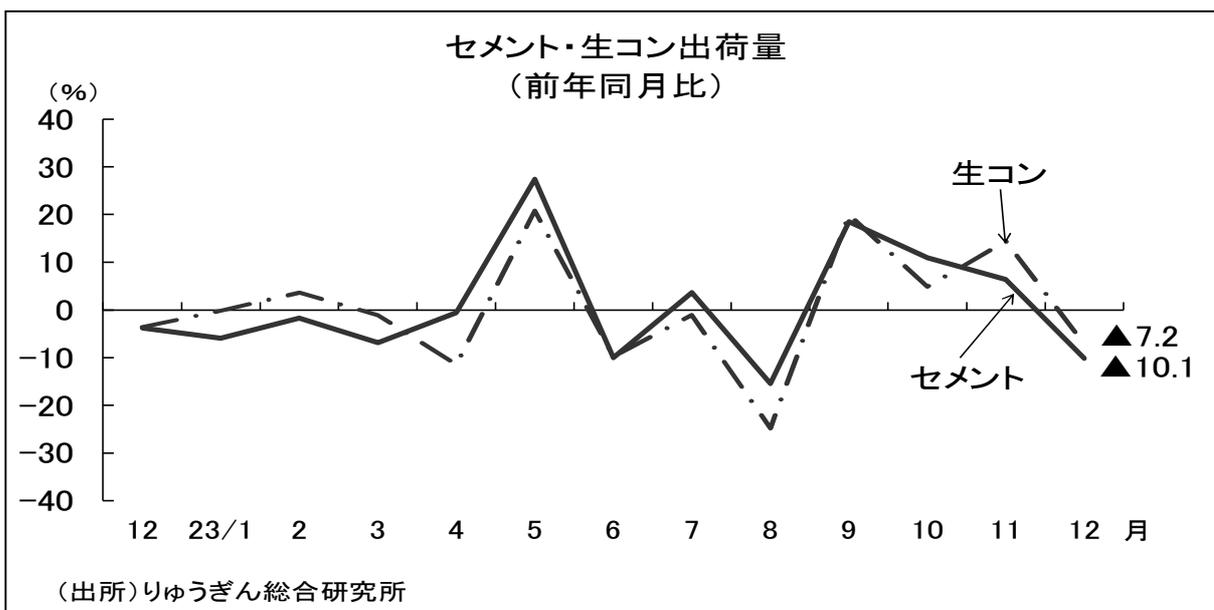
- ・ 新設住宅着工戸数（11月）は782戸となり、持家、分譲、給与は減少したが、貸家は増加したことから前年同月比0.6%増と6カ月連続で前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、貸家（400戸）が同23.8%増と増加し、持家（192戸）が同11.5%減、分譲（190戸）が同18.5%減、給与（0戸）が全減と減少した。

(4) 建設受注額：2カ月連続で増加



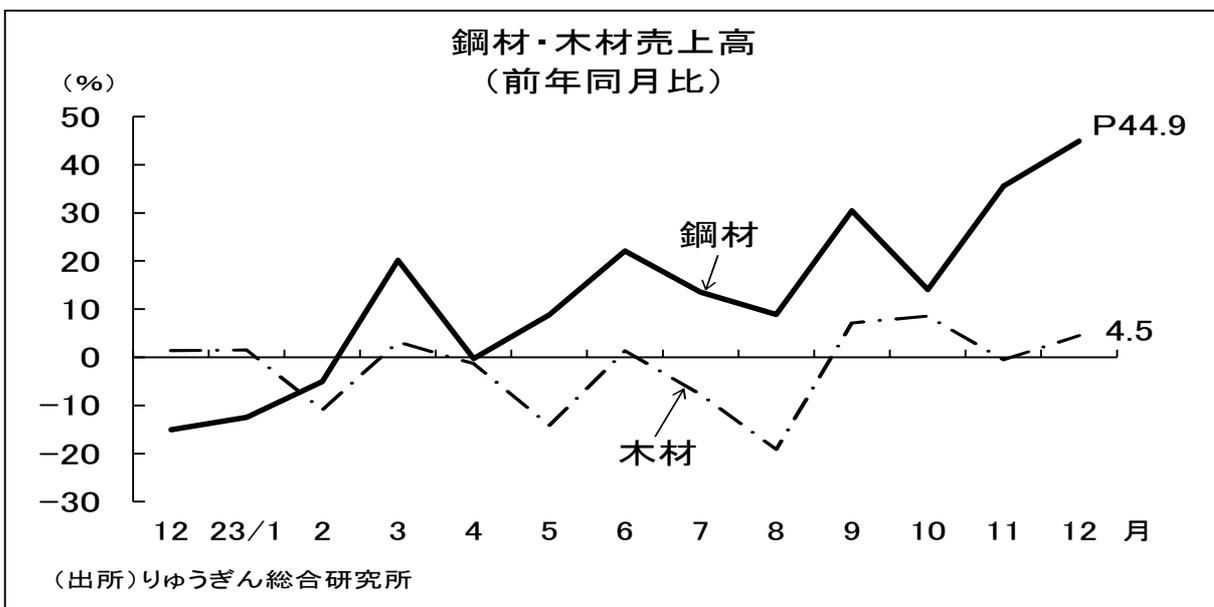
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比133.7%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同427.1%増）は2カ月連続で増加し、民間工事（同37.0%増）は3カ月ぶりに増加した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンともに4カ月ぶりに減少



- ・ セメント出荷量は6万4,329トンとなり、前年同月比10.1%減と4カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は10万8,701 m<sup>3</sup>で同7.2%減となり、4カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、防衛省向けなどが増加し、橋梁関連向けや学校関連向けなどが減少した。民間工事では、貸家向けなどが増加し、一般土木向けや医療関連向けなどが減少した。

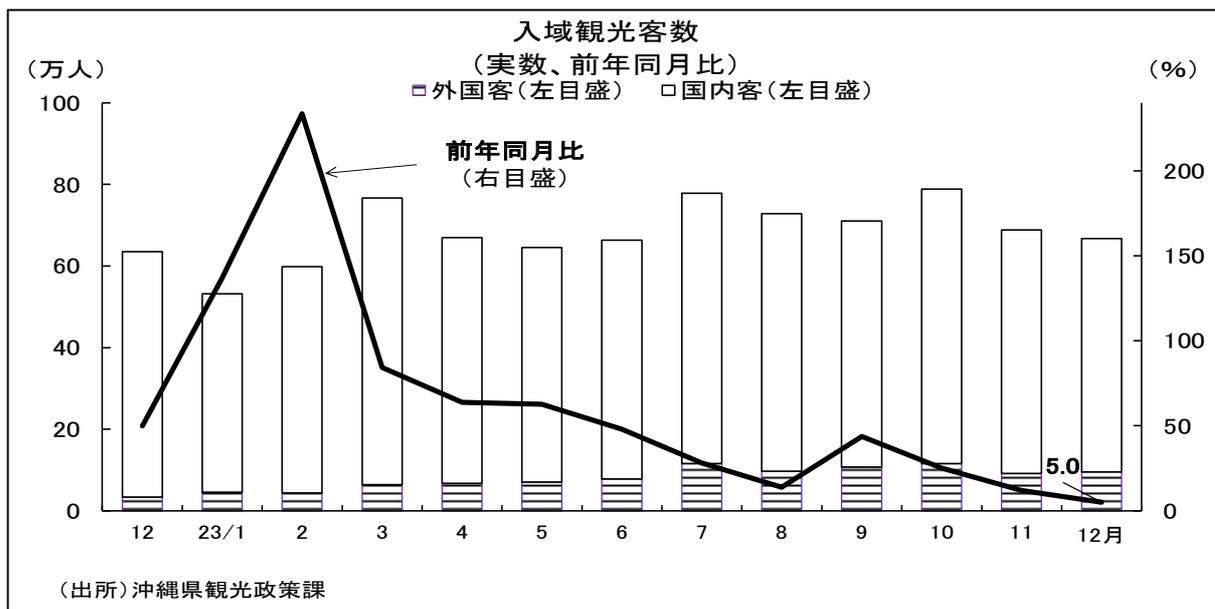
(6) 鋼材・木材：鋼材は8カ月連続で増加、木材は2カ月ぶりに増加



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、出荷量が増加したことなどから前年同月比44.9%増と8カ月連続で前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が増加したことなどから同4.5%増と2カ月ぶりに前年を上回った。

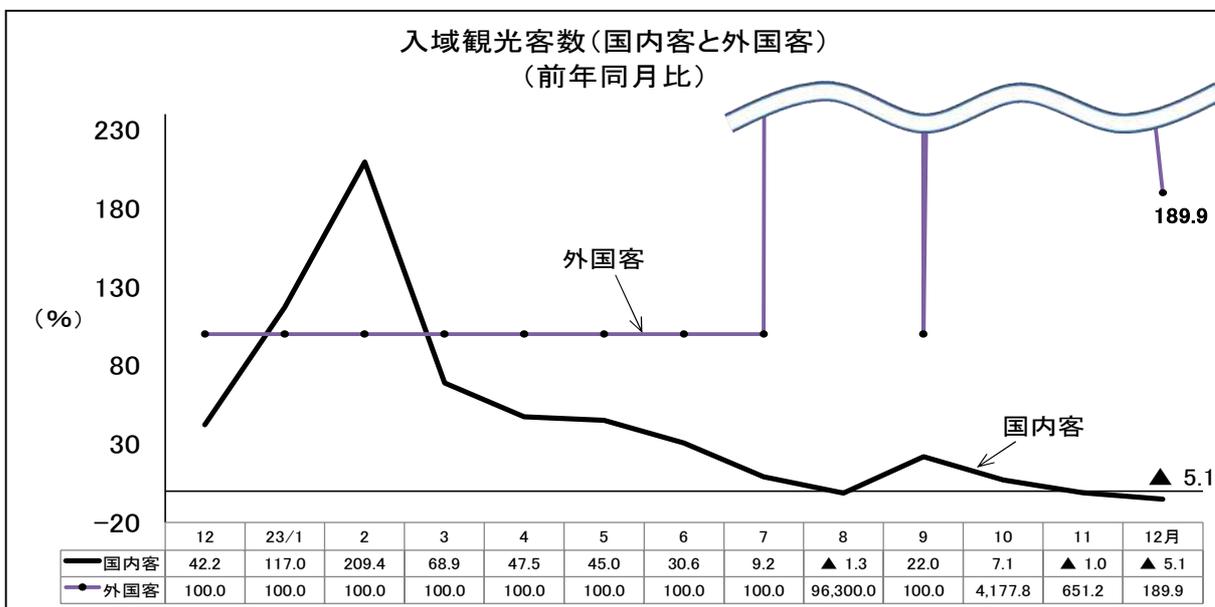
### 3. 観光関連

#### (1) 入域観光客数：25カ月連続で増加



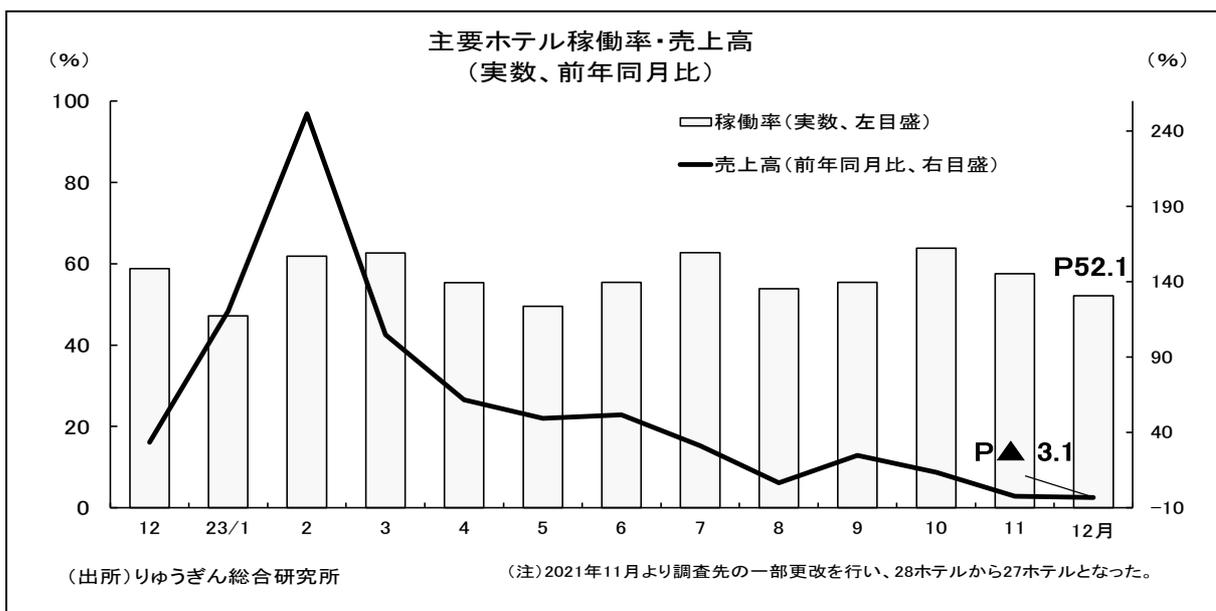
- 入域観光客数は、66万6,600人（前年同月比5.0%増）となり、25カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は65万5,400人（同3.5%増）となり25カ月連続で前年を上回った。海路は1万1,200人（同522.2%増）となり16カ月連続で前年を上回った。
- 修学旅行や冬休みの旅行需要のほか、NAHA マラソンなどのイベントもあり好調に推移した。

#### (2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は2カ月連続で減少、外国客は15カ月連続で増加



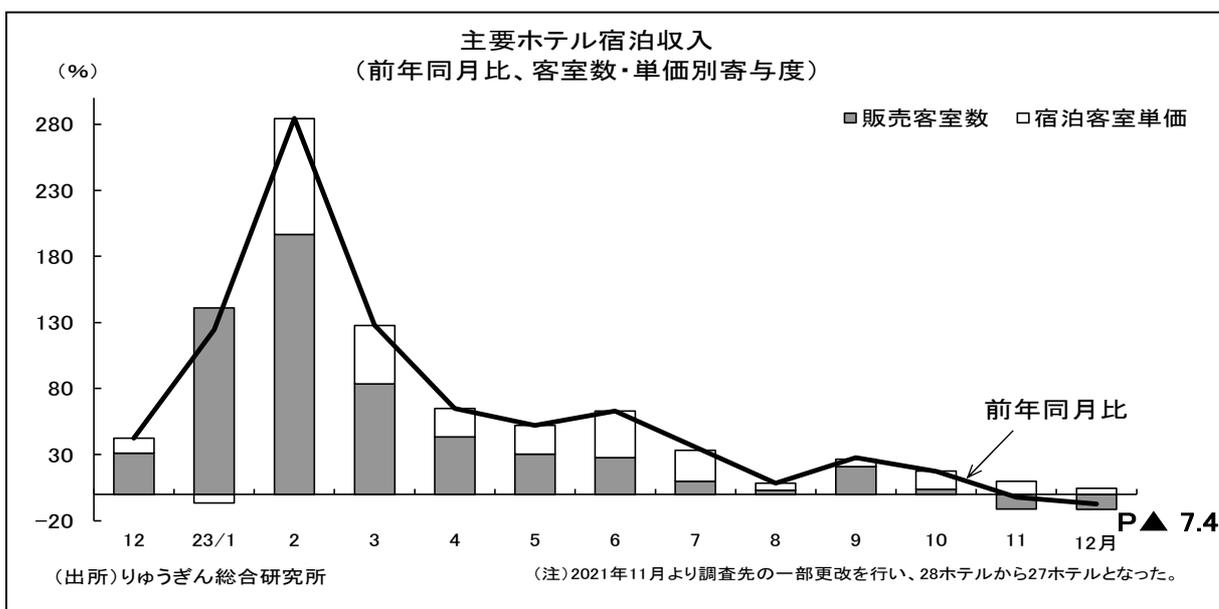
- 国内客は、57万1,500人（前年同月比5.1%減）となり、2カ月連続で前年を下回った。外国客は9万5,100人（同189.9%増）となり、15カ月連続で増加した。
- 国内は前年の全国旅行支援の反動等があり前年を下回ったが、外国客は引き続き訪日意欲高く好調に推移した。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに2カ月連続で減少



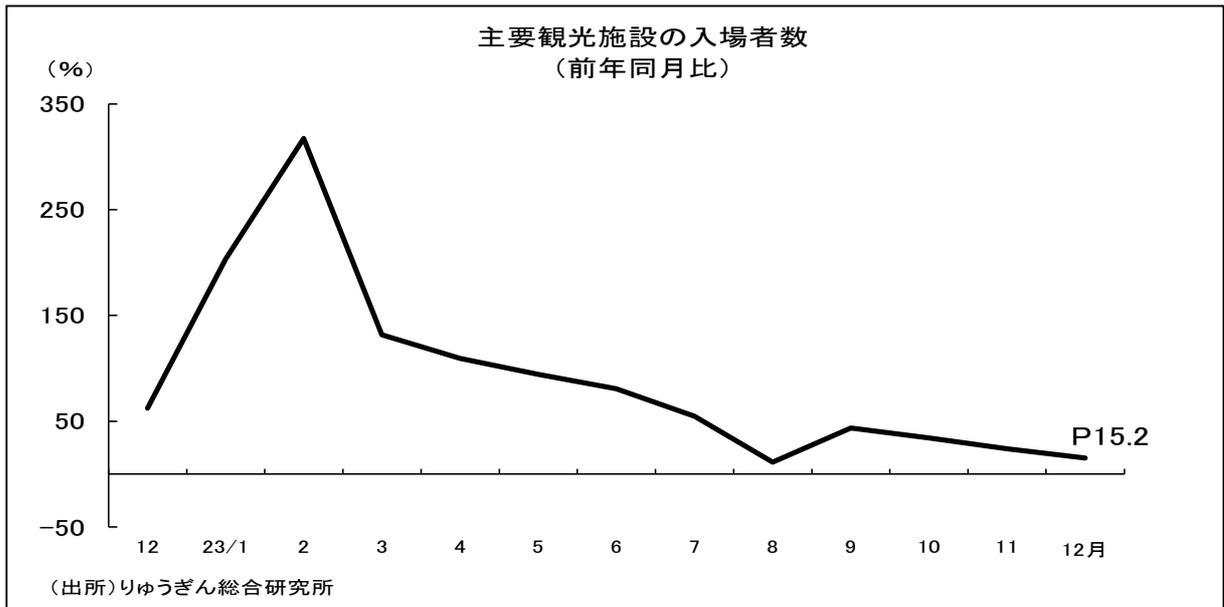
- ・ 主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は52.1%と前年同月差6.7%ポイント減少、売上高は前年同月比3.1%減となり、稼働率、売上高ともに2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテル（速報値）の客室稼働率は63.9%と同1.0%ポイント減少し、2カ月ぶりに前年を下回り、売上高は同3.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。リゾート型ホテルの客室稼働率は47.7%と同8.8%ポイント減少、売上高は同4.8%減となり、稼働率、売上高ともに2カ月連続で前年を下回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月連続で減少



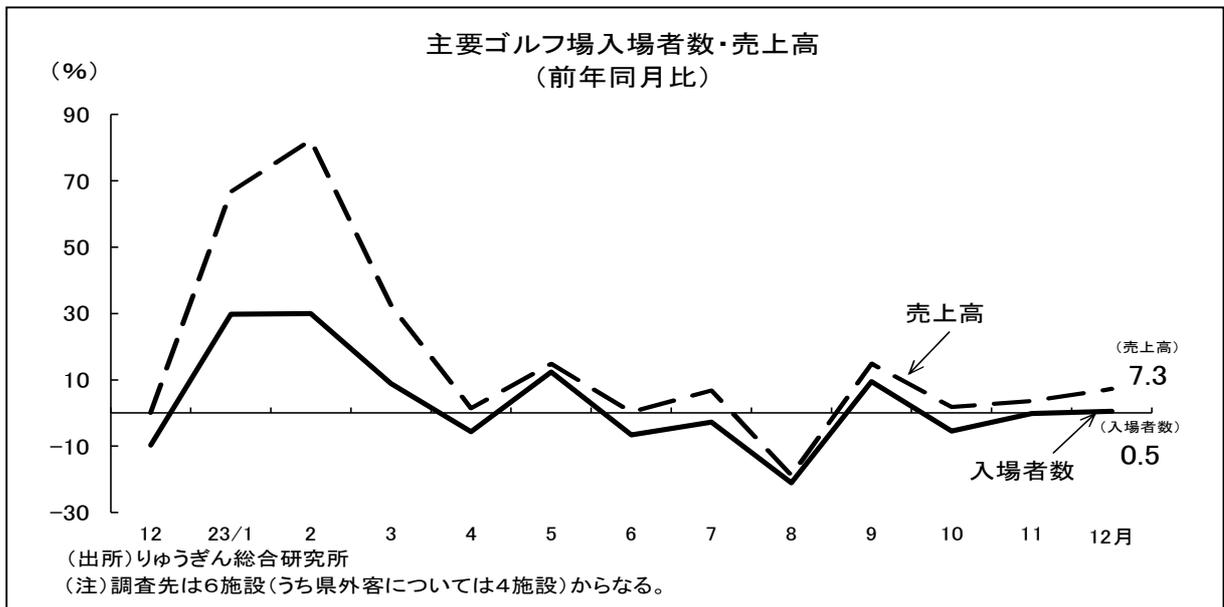
- ・ 主要ホテル（速報値）の売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が減少、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比7.4%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテル（速報値）は、販売客室数と宿泊単価がともに減少し、同3.0%減と2カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテルは、販売客室数が減少、宿泊単価は上昇し、同8.4%減となり、2カ月連続で前年を下回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：22 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設（速報値）の入場者数は、前年同月比 15.2%増と 22 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 修学旅行や一般団体客が増加したほか、外国客の利用も増加した。

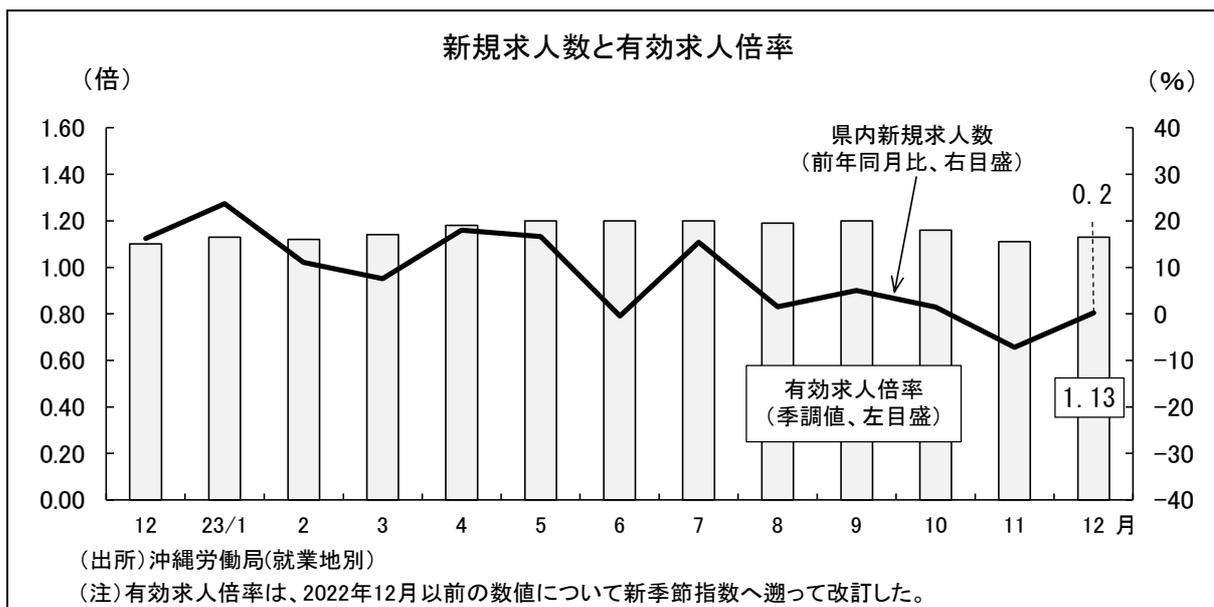
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数 3 カ月ぶりに増加、売上高 4 カ月連続で増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 0.5%増と 3 カ月ぶりに前年を上回った。県内客は 2 カ月ぶりに前年を下回り、県外客は 3 カ月ぶりに前年を上回った。売上高は同 7.3%増と 4 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 入場者数は前年と同水準であるが、単価の高い県外客や外国客（主に韓国）の利用が増加しており、売上向上に寄与した。

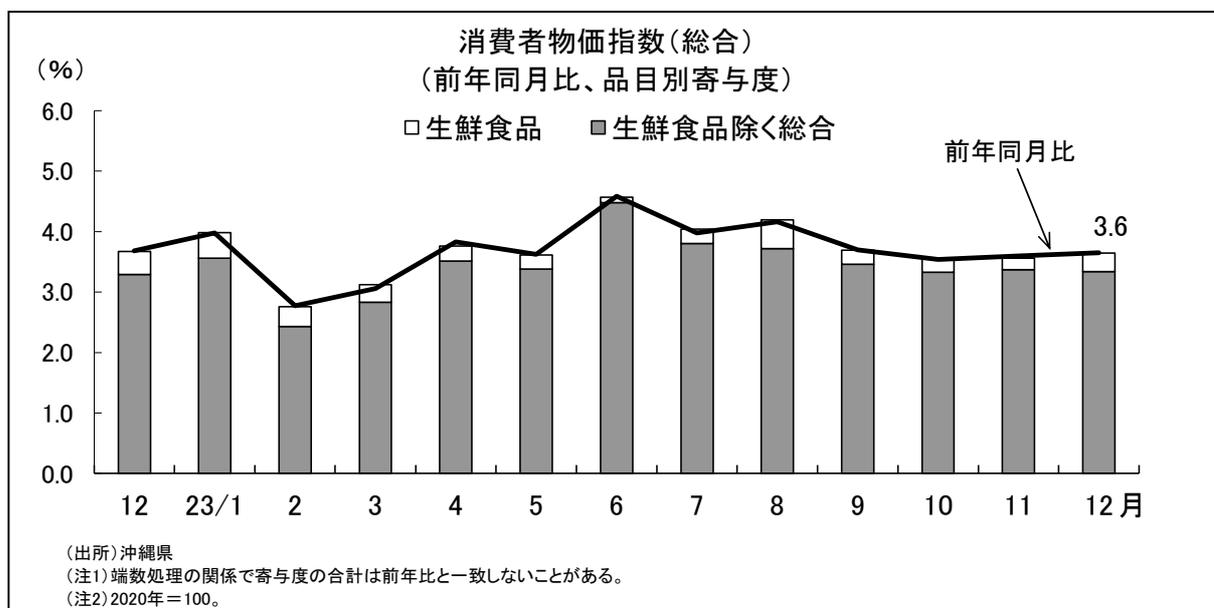
## 4. その他

### (1) 雇用関連：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は上昇



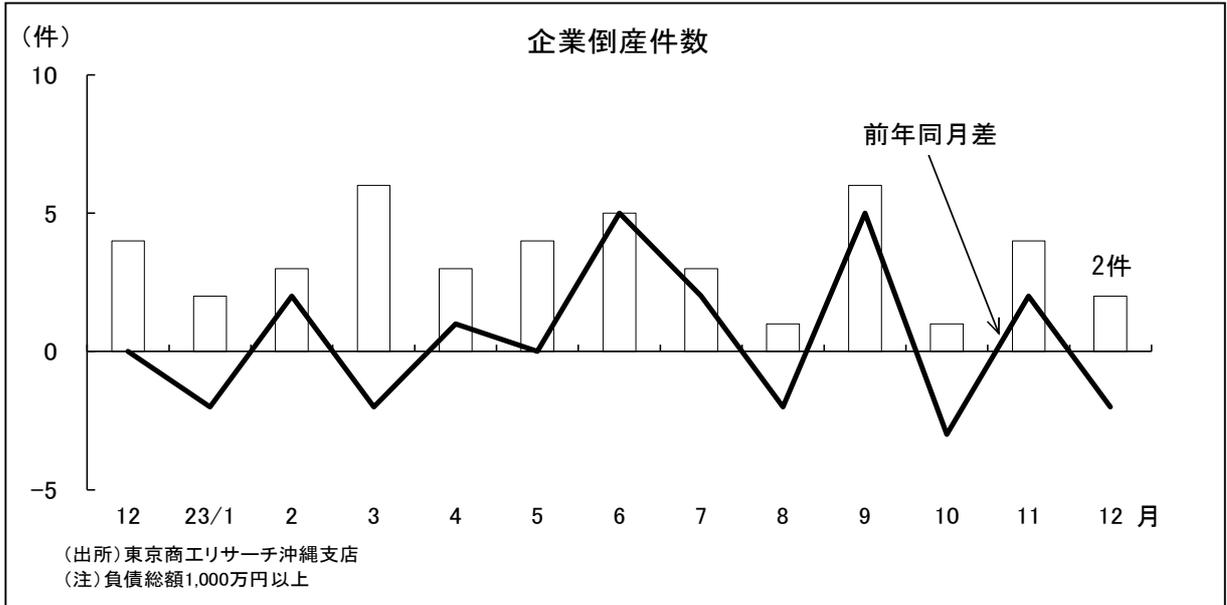
- 新規求人数は、前年同月比 0.2%増と2カ月ぶりに前年を上回った。産業別では、建設業、運輸業・郵便業、サービス業（他に分類されないもの）などで増加した。有効求人倍率（季調値）は1.13倍で、前月より0.02ポイント上昇した。
- 労働力人口は、79万6,000人で同0.5%増となり、就業者数は、77万4,000人で同1.3%増となった。完全失業者数は2万3,000人で同17.9%減となり、完全失業率（季調値）は2.9%と、前月より0.3ポイント低下した。

### (2) 消費者物価指数：28カ月連続で上昇



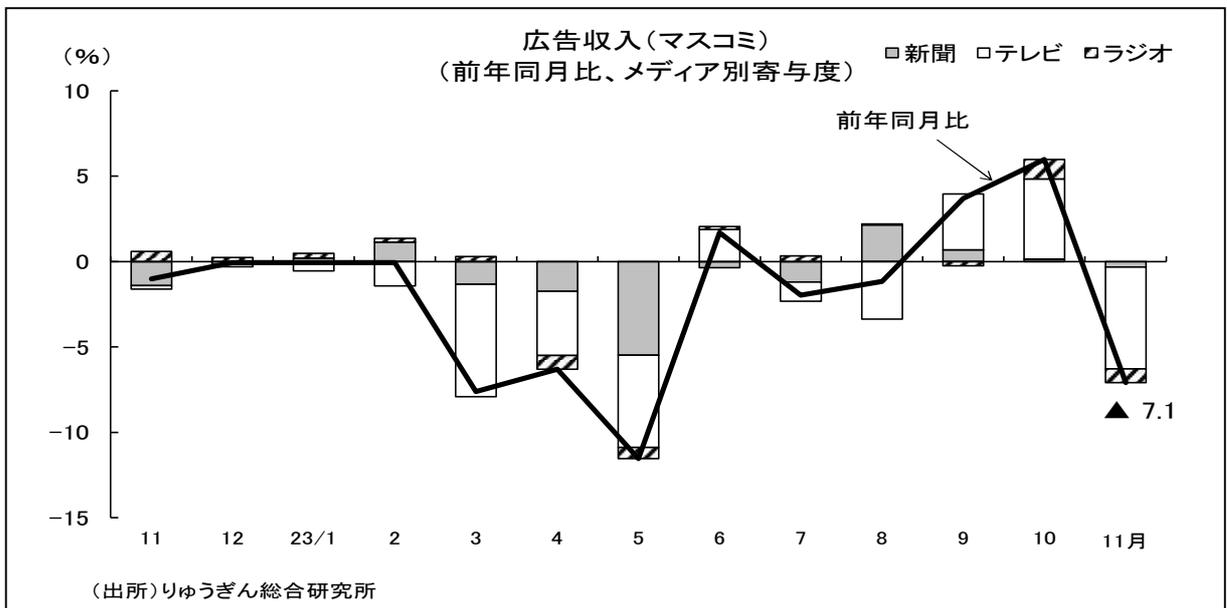
- 消費者物価指数は、前年同月比 3.6%の上昇となり、28カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同3.5%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同4.5%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、家具・家事用品などで上昇し、光熱・水道などで下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに減少



- ・ 倒産件数は、2件で前年同月から2件減少した。業種別では、情報通信業1件、サービス業他1件となった。
- ・ 負債総額は1億1,000万円で、前年同月比82.2%減となった。

(4) 広告収入 (マスコミ)：3カ月ぶりに減少



- ・ 広告収入 (マスコミ：11月) は、前年同月比7.1%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ コロナの5類移行後で再開された各種イベント等の広告があったものの、全体では減少となった。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

## 沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	-	19.2	3.6	425,816	25.1	-	-
2022 11	0.4	4.5	4.9	0.0	11.4	▲ 1.3	17,120	▲ 22.1	168	31.9
12	▲ 0.3	7.1	6.5	1.0	26.0	▲ 2.6	11,214	▲ 37.6	135	▲ 1.3
2023 1	24.8	3.7	4.2	▲ 3.6	32.8	▲ 1.8	11,114	▲ 58.6	97	▲ 20.7
2	16.7	3.4	3.9	▲ 5.0	45.9	2.4	59,359	141.8	99	21.0
3	4.9	5.5	6.5	▲ 1.7	18.6	3.7	84,927	54.9	80	▲ 48.7
4	13.2	6.1	7.2	▲ 7.5	23.7	3.0	17,663	6.4	111	▲ 14.7
5	10.6	7.1	8.4	▲ 3.5	69.8	8.5	14,118	2.8	115	▲ 14.8
6	▲ 3.0	3.1	3.6	▲ 10.4	36.3	4.2	22,582	▲ 55.0	159	27.8
7	8.1	9.4	8.3	▲ 0.8	1.9	4.9	44,353	68.0	99	5.0
8	8.8	8.6	7.6	11.8	3.2	▲ 13.3	26,976	▲ 32.3	97	▲ 15.3
9	8.5	6.8	7.5	6.6	19.5	14.5	73,429	150.2	107	▲ 7.5
10	11.8	6.6	6.9	3.5	15.1	8.2	22,851	▲ 23.0	145	2.4
11	5.3	5.1	5.4	2.7	6.1	3.5	30,627	78.9	89	▲ 47.0
12	2.0	3.2	3.8	-	▲ 8.1	7.0	17,812	58.8	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 2022年4月より家電卸売販売額から家電大型専門店販売額へと更改した。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 6.0	3.1	▲ 41.0	8.6	3.9
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	134.1	4.7	▲ 2.9
2023	-	-	P32.3	0.6	▲ 0.1	P14.6	▲ 2.5	P62.9	3.3	-
2022 11	777	▲ 11.9	22.0	▲ 1.9	0.4	▲ 7.8	16.8	93.8	▲ 1.9	▲ 1.0
12	1,027	10.3	1.9	▲ 3.8	▲ 3.6	▲ 15.0	1.4	62.2	▲ 9.6	▲ 0.1
2023 1	895	41.4	157.9	▲ 6.0	▲ 0.2	▲ 12.5	1.5	203.7	29.7	▲ 0.1
2	657	21.2	98.7	▲ 1.7	3.6	▲ 5.0	▲ 10.9	317.5	29.9	▲ 0.1
3	670	▲ 10.9	▲ 25.9	▲ 6.8	▲ 1.1	20.2	3.2	131.9	8.9	▲ 7.6
4	733	▲ 25.2	▲ 91.5	▲ 0.6	▲ 11.4	▲ 0.3	▲ 1.3	109.3	▲ 5.6	▲ 6.3
5	768	▲ 8.0	▲ 57.4	27.4	20.8	8.8	▲ 14.2	94.4	12.3	▲ 11.5
6	1,213	62.6	18.6	▲ 10.0	▲ 9.8	22.1	1.3	80.7	▲ 6.6	1.7
7	924	26.4	80.6	3.6	▲ 1.1	13.5	▲ 7.7	54.7	▲ 2.7	▲ 2.0
8	847	4.6	713.2	▲ 15.5	▲ 24.8	8.9	▲ 19.2	11.2	▲ 21.0	▲ 1.2
9	845	21.1	32.5	18.5	20.0	P30.4	7.2	P43.5	9.4	3.7
10	747	15.3	▲ 6.4	10.9	4.9	P14.1	8.6	34.2	▲ 5.5	6.0
11	782	0.6	50.7	6.4	14.4	P35.5	▲ 0.5	23.9	▲ 0.1	▲ 7.1
12	-	-	P133.7	▲ 10.1	▲ 7.2	P44.9	4.5	P15.2	0.5	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2022年12月より調査先17社のうち、一部更改を行った。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

## 沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	-	-
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	-	-
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	P57.4	56.0	P40.8	33.3	-	-
2022 11	615.0	67.1	12.1	100.0	68.9	61.7	114.1	86.3	68.0	▲ 9.0
12	635.0	49.9	32.8	100.0	64.9	56.0	39.8	32.1	70.3	16.9
2023 1	532.2	137.0	44.8	100.0	55.9	44.0	156.0	113.6	75.0	▲ 1.6
2	597.9	233.6	43.4	100.0	70.9	58.5	214.5	262.7	75.6	2.6
3	766.2	84.3	64.2	100.0	62.8	55.2	89.2	84.7	77.3	0.4
4	669.9	63.8	66.8	100.0	53.8	55.9	58.8	62.2	72.0	▲ 11.4
5	645.3	62.6	70.0	100.0	46.6	50.6	27.3	53.2	72.8	2.8
6	663.4	47.9	77.7	100.0	55.5	55.4	52.3	51.6	72.9	▲ 0.4
7	778.5	28.1	114.9	100.0	55.1	65.5	28.8	31.3	70.4	0.3
8	728.6	13.7	96.4	96,300.0	50.3	55.5	39.0	▲ 0.5	68.8	▲ 0.5
9	710.1	43.5	106.6	100.0	56.5	55.0	33.0	23.6	78.7	7.8
10	788.4	25.0	115.5	4,177.8	60.8	64.9	18.4	12.7	72.9	1.1
11	688.0	11.9	90.9	651.2	P57.8	57.3	P▲6.1	▲ 1.4	-	-
12	666.6	5.0	95.1	189.9	P63.9	P49.3	P3.8	▲ 4.8	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2021年11月より調査先が28ホテルから27ホテルとした。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
		百万円	前年比							
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.6	0.4	0.80	0.7	44,890	126,238
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	75,417	302,815
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	52,671	288,310
2022 11	2	75	▲ 76.6	4.2	3.5	1.2	1.10	24.5	8,149	25,351
12	4	617	▲ 65.8	3.7	3.6	2.1	1.10	16.1	6,131	51,763
2023 1	2	128	▲ 95.5	4.0	2.8	0.9	1.13	23.7	1,061	17,031
2	3	430	4,200.0	2.8	3.5	1.6	1.12	11.0	1,870	12,347
3	6	145	▲ 84.5	3.1	3.9	0.1	1.14	7.5	5,927	25,429
4	3	294	72.9	3.8	4.0	0.0	1.18	18.0	24,678	21,830
5	4	689	474.2	3.6	3.7	1.1	1.20	16.6	1,147	10,583
6	5	225	100.0	4.6	3.0	2.4	1.20	▲ 0.5	1,429	20,164
7	3	147	56.4	4.0	2.5	3.9	1.20	15.4	1,943	47,767
8	1	20	▲ 94.8	4.2	4.0	0.5	1.19	1.5	1,326	36,444
9	6	771	828.9	3.7	3.4	0.9	1.20	5.0	2,555	15,641
10	1	200	▲ 75.5	3.5	3.4	3.7	1.16	1.4	1,620	17,430
11	4	239	218.7	3.6	3.2	3.1	1.11	▲ 7.2	7,894	50,581
12	2	110	▲ 82.2	3.6	2.9	1.3	1.13	0.2	1,380	12,960
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2022年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

## 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	150	▲ 9.0	2,720	▲ 9.8	106	0.039
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	-	-	-	-	-	-
2023FY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2022 11	206	295	▲ 88	1.333	-	-	-	-	-	-
12	432	199	232	1.332	-	-	-	-	-	-
2023 1	144	417	▲ 272	1.331	-	-	-	-	-	-
2	178	306	▲ 128	1.328	-	-	-	-	-	-
3	202	352	▲ 149	1.324	-	-	-	-	-	-
4	271	241	30	1.332	-	-	-	-	-	-
5	155	419	▲ 264	1.333	-	-	-	-	-	-
6	187	286	▲ 98	1.329	-	-	-	-	-	-
7	196	279	▲ 83	1.325	-	-	-	-	-	-
8	246	364	▲ 117	1.325	-	-	-	-	-	-
9	167	418	▲ 251	1.325	-	-	-	-	-	-
10	209	323	▲ 113	1.327	-	-	-	-	-	-
11	258	352	▲ 93	1.328	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

注) 手形交換所は2022年11月に業務終了した。

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2021FY	58,037	4.1	41,033	0.5	58,716	4.1	10,428	1.0	3,005	4.9
2022FY	60,065	3.5	41,959	2.3	60,834	3.6	10,667	2.3	3,006	0.0
2023FY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2022 11	59,832	3.7	41,268	1.4	60,547	3.9	10,744	2.4	2,990	▲ 0.2
12	59,865	3.9	41,442	0.6	60,609	3.9	10,736	2.5	2,998	▲ 0.1
2023 1	59,447	3.2	41,466	1.6	60,153	3.2	10,733	2.7	3,002	0.0
2	59,542	3.3	41,654	2.1	60,217	3.4	10,727	2.7	2,996	▲ 0.1
3	60,065	3.5	41,959	2.3	60,834	3.6	10,667	2.3	3,006	0.0
4	61,161	2.5	41,478	2.0	61,863	2.6	10,618	1.3	2,987	0.1
5	61,098	2.7	41,518	1.5	61,841	2.8	10,569	1.2	2,977	▲ 0.1
6	61,274	2.0	41,570	1.6	62,029	2.1	10,501	0.7	2,971	▲ 0.1
7	61,590	2.2	41,630	1.6	62,316	2.3	10,465	1.2	2,969	▲ 0.3
8	61,531	2.4	41,559	1.3	62,275	2.4	10,287	▲ 3.7	2,964	▲ 0.5
9	61,480	2.8	41,799	1.3	62,215	2.8	10,238	▲ 4.6	2,961	▲ 0.7
10	61,174	2.2	41,641	1.2	61,897	2.2	10,321	▲ 3.7	2,953	▲ 1.4
11	61,242	2.4	41,766	1.2	62,021	2.4	10,285	▲ 4.3	2,954	▲ 1.2
12	61,202	2.2	42,233	1.9	-	-	10,241	▲ 4.6	2,946	▲ 1.7
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。